

はつらつセンターの取組
社会福祉法人 両崖福祉会



取組をはじめたきっかけは何ですか？

平成16年12月にパワーリハビリを中心としたデイサービスけやきを開設、平成24年8月に念願の「足湯」が完成し、定員を40名から45名へと増員しました。さらに身体機能の向上を図るとともに、心のリハビリ(カラオケ・足湯等)にも取り組んできました。

デイサービスの開設10年の節目に、改めて私たちの基本理念である「地域社会のために」をベースに、「デイサービスけやき」で行っている様々なサービスを地域の方達にも体験してもらいたいと考え、職員や地域包括のみなさんと活動計画を立案しました。そして、平成27年4月に住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう「介護予防事業」を行う「はつらつセンターけやき」(デイサービスけやき内、北郷地区)を開催しました。

どんな取組を行っていますか？

参加者の人数が多いため、午前中は3つのチームに分けて、脳トレ、運動、足湯またはスポーツ吹き矢を30分間隔で行っています。昼食の準備や下膳などは、参加者のみなさんが一緒に行きます。午後は、介護予防教室として、様々な講師をお呼びして専門的な指導を実施したり、地域で活動している団体の協力を

得て、歌声喫茶やフラメンコ、フラダンス、バレエなどを一緒に楽しんでいます。講座内容は、毎月変わり、利用者のみなさんの意見から取り入れた講座も多くあります。中でもリハビリの講座は、4月に学んだリハビリの成果を数か月後に先生がチェック、フィードバックしてくれるのでみなさんモチベーションもあがり、大変好評をいただいています。最後にティータイムを取りながら、感想や要望に関するアンケートを毎回実施しています。

はつらつセンターけやきの開始当初は、地域の公民館や自治会に回覧板でチラシの回覧をお願いしていました。現在は、年に1回「はつらつセンターの1日の流れ」のチラシを地域に回覧している程度で、ほとんどが利用者の口コミで広がっています。

取組を行う際のポイント

私たちが、一方的に提案するのではなく、参加者のみなさんにアンケートを取って、意見を積極的に取り入れています。そのなかで「もっと職員の力になりたい」という声があがり、現在は5名の方がボランティアとしてはつらつセンターの運営に協力いただいています。

一人一人が「役割」をもって、その役割を継続することで、ボランティアの育成にも繋がりました。



昼食準備の様子

これからの活動について

対象地区を増やして欲しいという意見も多く、現在は3地区向けに開催し、160名の方が参加されています。

買い物や通院の移動が困っているという意見もあるため、交通手段の支援で通院介助や買い物ツアーの企画立案もしていきたいと思っています。



- はつらつセンターけやき
- ◆所在地 足利市大月町811-1
(健康デイサービスセンターけやき)
 - ◆実施日 月1回(第1もしくは第3日曜日)
10:00~15:00
 - ◆対象者 足利市在住の65歳以上で、
介護認定を受けていない方
介護認定を受けていても現在、
サービスを利用していない方
 - ◆費用 800円/回 昼食・おやつ付き
送迎費(希望者)片道100円
 - ◆内容
午前:脳トレ・運動・足湯・スポーツ吹き矢
午後:介護予防教室
リハビリ・栄養指導・口腔指導・音楽療法
歌声喫茶・フラメンコ・フラダンス・バレエ 等

インタビュー協力 細貝 文子 / 中島 敦史

現状維持ではなく、さらに!より良く!と前向きに、
「今日も1日がんばろー!」とみなさんと一緒に活を入れています。



住み慣れた地域で高齢者が、「元気」で「はつらつ」と暮らすことができるようにと願いをこめて「はつらつセンター」の名前を付けました。居場所を提供したことで、利用者のみなさんが自分の役割を意識し、自発的に参加してくださっている姿は、はつらつとしていて素敵ですね。これからも、現状維持ではなく常に前向きに、もっともっとよいサービスを提供することを心掛けていきます。

社会福祉法人 両崖福祉会 理事長 細貝 文子

法人概要

法人名 | 社会福祉法人 両崖福祉会
所在地 | 足利市大月町1042-2
代表 | 細貝 文子

事業内容 | 老人福祉施設の運営、障害福祉サービス事業 など

評価のポイント

地域住民が参加しやすい取組であることや、参加者の方がボランティアとしても活動していることをはじめ、日々のアンケートを通じて参加者の「生の声」を活動に活かすなど、地域のニーズを把握・反映させた創意工夫ある取組が特に評価されました